

保証

- 保証期間は、お買い上げの日から1ヶ月とします。
- 万一、故障の場合は、お買い上げの販売店または当社にご連絡ください。
- 無償修理は、当社にて現品を確認し、保証期間中、且つ商品の不良であれば対応いたします。
- 下記の場合は、保証期間中でも、お客様の使用回数が少なくても、お客様の責任、および、ご負担（有償修理、有償点検）での対応となります。
 - ・取扱説明書の注意事項を守らなかったことによる故障および損傷
 - ・お客様の認識不足や勘違い。取扱上の不注意や転倒・落下・事故等による故障および損傷
 - ・お客様の使用環境や設置場所による故障および損傷
 - ・指定外の動力源（電圧、周波数、燃料、気体など）の使用による故障および損傷
 - ・天災、地変（火災、地震、水害、塩害、落雷、公害など）による故障および損傷
 - ・消耗や経年劣化による故障（経年劣化は使用回数とは関係がございません）
 - ・純正部品以外の部品が使用されている場合
 - ・当社指定の修理店以外による修理がされている場合
 - ・お客様により、商品の改造・分解がなされている場合
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 商品の不具合による生産補償、営業補償等の二次的損失の補償は一切いたしません。
- 販売店が発行する証明書（販売証明書・レシートなど指定のもの）を本保証書と共に大切に保管し、修理の際は必ずご提示ください。ご提示がない場合は保証できない場合があります。

◆修理サービスについて

修理をご依頼される前に、必ず下記内容をご確認ください。

本商品は、商品の特性上、タンク部分の修理は行っておりません。このため、タンク部分の破損や変形が発生している場合は、お客様の安全を考慮し、新しい商品をお買い求めいただくことをご推奨する場合がございます。業務用商品とは全く異なること対応となることをご了承願います。

修理をご依頼される時は下記内容をご確認ください。

- 修理はお買い上げの販売店にご相談ください。この時にお買い上げの商品の形式名およびお買い上げの時期をお知らせください。
- 修理品をお渡しの際は、本書も合わせてご持参ください。販売店、販売時期の確認を行ないます。
- 保障期間内でも、商品に不具合なき場合は、有償にてご対応させていただきます。
- 保証期間を経過した修理は、機能が維持できる場合、お客様のご要望により有償修理させていただきます。
- 詳しくはお買い上げの販売店、または当社にご相談ください。

◆よくあるQ&A

Q1.「保証期間内は全て無償ではないのですか？」

A1.「無償ではない場合があります。当社保証の内容は、取扱説明書の裏表紙の保証欄をご確認ください。」

Q2.「修理見積もり料はかかりますか？」

A2.「お見積もり料は無料ですが、修理品をお客様に返却させていただくため、お客様（販売店様）と当社間の往復送料が必要となります。仮にお客様より返却せず処分をご依頼されても、廃棄物処理法により、当社では廃棄することができませんので、必ずご返却させていただいております。」

この他、商品に関するお問い合わせ・ご意見・ご要望などございましたら、当社までご連絡ください。

AIREX

アネスト岩田株式会社

〒223-8501 神奈川県横浜市港北区新吉田町3176 TEL:0800-100-1926

原産国 中国

AIREX

形式 CHST-30B

DIY用補助タンク

取扱説明書

- ご使用前に、『取扱説明書』を必ずお読みください。誤ったご使用は、商品の故障や事故を引き起こす原因となります。お客様が商品をご使用された時点で、本書の内容を全てご理解いただいたことと判断させていただきます。
- 本商品は商品の特性上、および、安全性を考慮し、タンク部分は補用部品として供給しておりません。また、タンク部分の修理も行っておりません。
- 本商品は業務用ではありません。業務用としてご使用になられた場合や過剰な条件でご使用になられた場合に発生した故障は一切保証しません。
- 警告・注意の表示を無視して使用した場合の損害については、当社は一切責任を負えませんので、ご了承願います。また、本商品の不具合による生産補償・営業補償等の二次的損失の補償は一切いたしません。
- 販売店が発行する販売証明書（販売証明書・レシートなど）を本書に貼り、お読みになった後は手近な所に保管し、ご活用ください。

■商品の特長

この補助タンクは、圧縮空気（エア）を溜めるためにコンプレッサとエアホースが必要です。コンプレッサに接続することによって、タンク容量の増設やキャリアタンクとして使用することができます。また、縦型のため、省スペースに設置が可能で、アルミ製のため、軽く持ち運びが容易です。

■開梱時の確認

この商品を開梱する際は、輸送途中に損傷を受けていないか注意して調べてください。損傷がある場合は、お買い求めになった販売店、または輸送した運送会社にご連絡ください。

◇梱包内容

現品	補助タンク	1台
付属品	取扱説明書	本書

■各部の名称

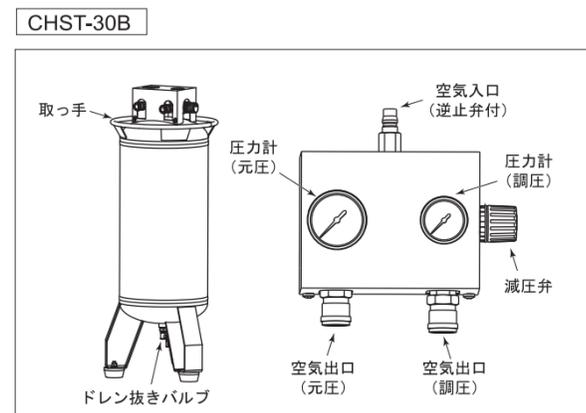


図1 各部名称

■安全に関する一般的なご案内

本商品は圧縮空気を使用します。本書をよく読み、ご理解された上で、ご使用願います。

▲危険	警告の内容を怠った場合、人が死亡又は重傷を負う危険が切迫して生ずることが想定されることを示します。
▲警告	警告の内容を怠った場合、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定されることを示します。
▲注意	注意の内容を怠った場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生する可能性が想定されることを示します。

▲警告

- 医療、呼吸器、食品、その他人体や動植物の生命に関わる設備や用途には絶対に使用しないでください。死亡や人体、動植物に重大な傷害を与える危険性があります。警告を無視して使用された場合は、弊社はいかなる損失、人体傷害および傷害に対する賠償責任を負いません。
 - 子供が触れないようにしてください。思わぬ事故の原因となります。
 - 火気や可燃性・揮発性・腐食性ガスのある場所では使用しないでください。
 - 高温多湿の場所、風雨の当る場所、塵埃が多い場所での使用・保管は避けてください。
 - 空気以外の気体は使用しないでください。
 - コンプレッサのエア（圧縮空気）にはドレン（コンプレッサオイル、大気中の塵埃、各種ガスおよび摺動部摩耗粉、空気タンクの錆、水滴など）が含まれています。ドレンはエア工具の故障の原因、ドレン飛散を引き起こす原因となりますので、ご使用の用途および要求の品質によって、エアドライヤやフィルタをご使用ください。
 - 最高使用圧力は、0.95MPaです。この圧力を超えないようにしてください。
 - アルミ製のため、外的衝撃（落下や転倒など）により、変形、破損や塗装の剥がれが発生します。強い衝撃を与えた場合は破裂の恐れがあるため使用しないでください。
 - エアホースの脱着時、ボールバルブやドレン抜きバルブを開く時は、激しくエアが吹き出ることがあります。この勢いでホースが飛んできたり、ドレン（汚れた水）が飛び出したりする恐れがあります。徐々にエアが抜けるよう調整してください。
 - タンク内に圧力が残っていると不意な衝撃によりエアが噴出する恐れがありますので、作業終了、作業中断、点検などの際は、必ずエアを抜いてください。エアを溜めた状態での放置は非常に危険です。キャリアタンクとして運搬する際は、取り扱いに十分ご注意ください。
- ※本商品は、一時的にエアを溜め、持ち運ぶことができますが、長期的にエアを溜めておくことはできません（微量な漏れがあります）。長期的に保管すると圧力が低下しますが、これは商品の不良や故障ではありません。
- 分解・改造は絶対に行なわないでください。分解・改造により発生した故障・二次的損失は保証対象外となります。

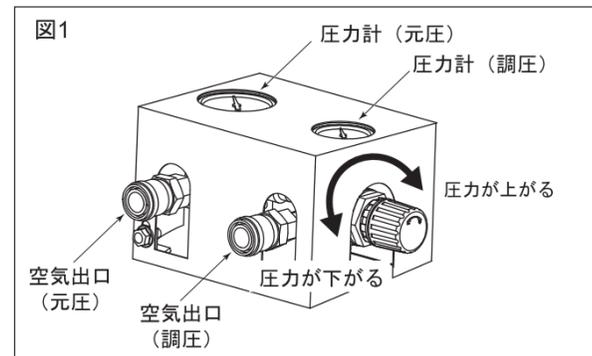
取扱準備

【最高空気圧力】

本商品の最高空気圧力は0.95MPaです。
この圧力以下でご使用ください。この圧力以上の使用は危険です。タンク内に過剰な圧力が流れると安全弁（安全装置）が作動します。頻繁に安全弁を作動させると故障し、誤作動を引き起こす可能性があります。

【圧力調整：空気出口（調圧）】

減圧弁によりエアの圧力を調整することができます。減圧弁のつまみを回し、圧力を調整します。
調整されたエアは空気出口（調圧）から吐出されます。
時計回りに回す ⇒ 圧力が上がる（下図参照）
反時計回りに回す ⇒ 圧力が下がる（下図参照）



※空気出口（元圧：無調圧）は補助タンク内のエアがそのまま吐出されます。元圧は圧力計（元圧）を確認ください。
※減圧弁により圧力の調整を最大にしても、補助タンク内の圧力は元圧以上にはなりません。
※つまみを回し過ぎないようにしてください。つまみが外れたり、減圧弁が破損したりします。

【ドレン抜き】

圧縮空気（エア）にはドレン水（汚れた水）が含まれます。タンク内に溜まったドレンを放置するとパッキンを劣化させたり、エアツールやその作業に悪影響を及ぼします。ご使用後は、ウエスや受け皿などを準備いただき、必ずドレン抜きバルブを開き、エアとドレンを排出してください。
※ドレン抜きバルブを無理に捻ると破損します。バルブは、一度に開かず、ゆっくり徐々に開いてください。
※ドレン排出時、ドレンが凍結することがあります。無理に開かず、自然解凍してください。



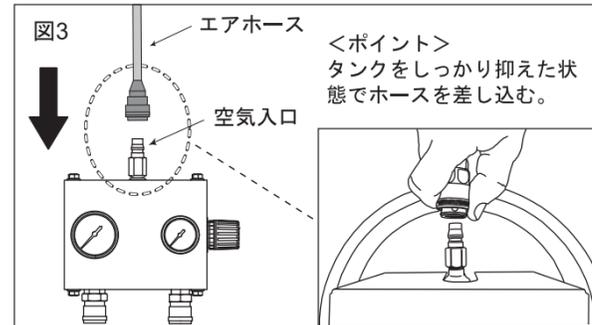
ご使用の際、エアにドレンが混じる場合は、こまめにドレン抜きを行うか、エアツールと補助タンク間にドレンフィルタを設置することをお勧めいたします。

※ドレンの処理はお客様に実施いただく作業です。ドレンによる問題やドレンを放置した場合の故障やトラブルは保証いたしません。

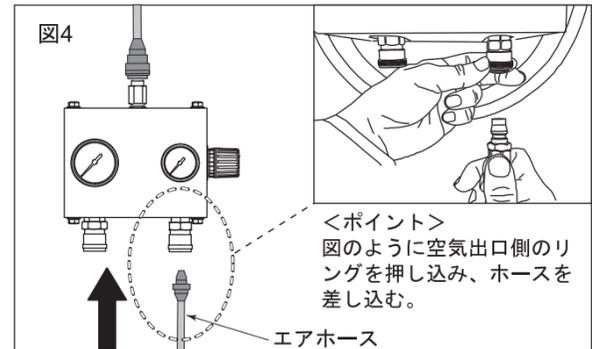
取扱方法

【補助タンクにエアを溜める】

コンプレッサに接続し、補助タンク内にエアを溜める。
①空気出口からエアホースを外してください。
②ドレン抜きバルブを閉じてください。
③コンプレッサに接続されたエアホースを補助タンクの空気入口に接続してください。（図3参照）。



④コンプレッサを起動してください。
※コンプレッサに減圧弁がある場合、減圧弁で設定されたエアが補助タンク内に流れます。
※コンプレッサのタンク内にエアが溜まっている場合、勢いよくエアが補助タンク内に流れます。
⑤圧力計（元圧）で補助タンク内の圧力が上昇したことを確認してください。
※補助タンク内の圧力はコンプレッサの圧力より高くなることはありません。配管の圧力損失により低くなります。
⑦お客様の用途に合わせ、空気出口にエアホースを接続し、作業を開始してください。
※エア圧によりエアホースが接続しにくい場合があります。この場合はエア圧を下げてから接続してください。

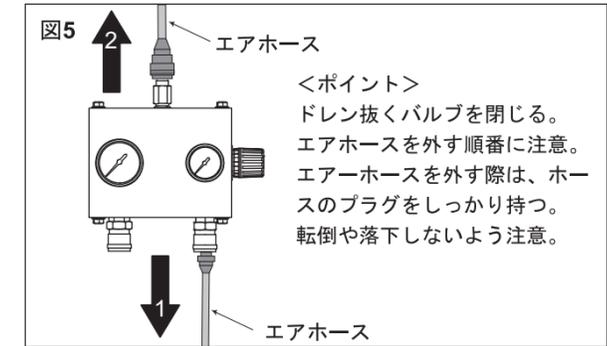


⑧ご使用后、ドレン抜きバルブを開き、エアとドレンを排出してください（【ドレン抜き】を参照）。

【キャリアタンクとして使用する】

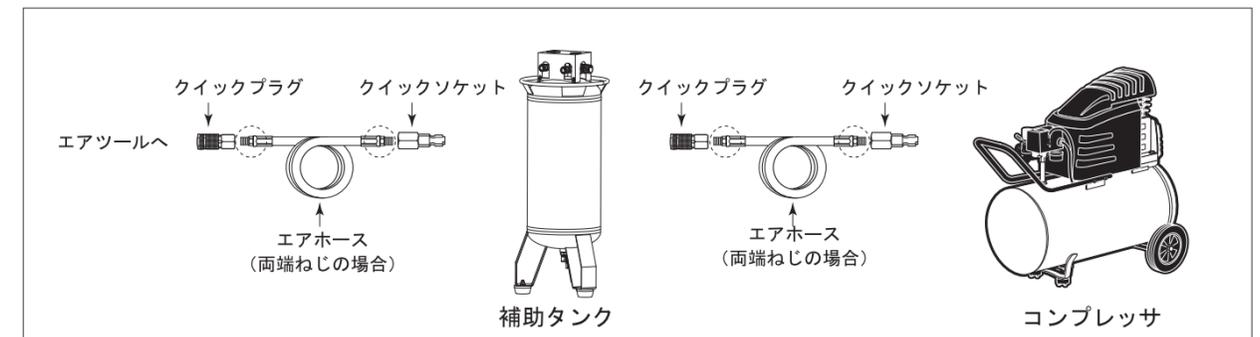
補助タンクをコンプレッサから切り離し、一時的に離れた場所で使用する場合は、下記を参照ください。

- ①空気出口からエアホースを外してください。
 - ②ドレン抜きバルブが閉じていることを確認してください。
 - ③補助タンク内にエアを溜めてください。
- ※【補助タンクにエアを溜める】を参照。
④空気入口のエアホースを外す（図5参照）。



※エアホースを外す際は、エアホースのプラグを手でしっかり持ってください。エア圧によりエアホースが勢いよく外れる恐れがあります。
※移動中は周囲の安全に十分配慮し、タンクに衝撃を与えないようにしてください。
⑤移動後、安全な平らな面に設置し、空気出口にエアホースを接続し、作業を開始してください。
※タンク内のエアが不足した場合は、再度コンプレッサに接続し、エアを補充してください。
※本商品は、一時的にエアを溜め、持ち運びすることができますが、長期的にエアを溜めておくことはできません。長期的に保管すると圧力が低下します。これは故障ではありません。
⑥ご使用後にドレン抜きバルブを開き、エアとドレンを排出してください（【ドレン抜き】を参照）。

【接続例】



※両端ねじの場合、ねじ部に市販のシールテープを巻く必要があります。※2～3巻き。エア漏れ防止のため。

【設置・保管】

- ・本商品はアルミ製タンクです。アルミ製は鉄製に比べ軽量ですが、鉄製に比べ強度がありません。このため、転倒や落下などの外的衝撃により変形や破損します。エアホースで引っ張ったり、地震の揺れなどで転倒や落下しないよう、お客様にて必ず衝撃防止対策を実施してください。
- ※転倒や落下などによりタンク部分の変形・破損した場合、直ぐに使用を停止してください。お客様の安全性の考慮し、修理対応（再加工や再接）は行っておりません。変形・破損が酷い場合は、破裂の危険性があるため、新たにお買い求めください。無理に使用し続けることは絶対におやめください。
- ・子供や動物がいない場所、直射日光や風雨のあたる場所、高温・多湿・塵埃の多い場所、火気や可燃性・揮発性・腐食性ガスのある場所は避けて設置・保管してください。
- ・ご使用後は、エアホースを外し、必ずドレン抜きバルブを開け、タンク内のエアとドレンを排出してください（【ドレン抜き】を参照）。
- ※絶対に補助タンク内にエアを溜めたまま放置しないでください。思わぬ事故を引き起こす原因となります。

基本仕様

空気タンク容量	30 L	
最高空気圧力	0.95MPa	
安全弁噴出圧力	1.0MPa	
接続口	空気入口	プラグ（20PF相当）
	空気出口（元圧）	カプラー（20SF相当）
	空気出口（調圧）	カプラー（20SF相当）
外形寸法（W×D×H）	330×340×870 mm	
質量	6.5kg	
周囲温度	5～38 °C	